

地域の歴史・文化・四季を体感できる場所の実現に向けて



地球と共存するサーキュラーエコノミーの実現

SHIROYAMA HOTEL kagoshima は、地域に密着した事業を通して地域社会に貢献し、時代の変化に即応した「革新と挑戦」を続け、お客様、お取引様、従業員とその家族の幸せを目指します。

サーキュラーパーク九州では、九州の「地域循環」モデルをつくり、これを広く共有し世界へ展開します。これまで捨てられていたモノを「資源」として循環させ、原材料の調達と廃棄処分を減らし、脱炭素に貢献します

「SHIROYAMA HOTEL kagoshima」と「Circular Park 九州」は、環境配慮への取り組み、地域社会との共生、Well beingの実現を目指し、資源循環への取り組みを推進することで、地域の歴史・文化・四季を体感できる場所を実現します。



2 資源循環の取り組み

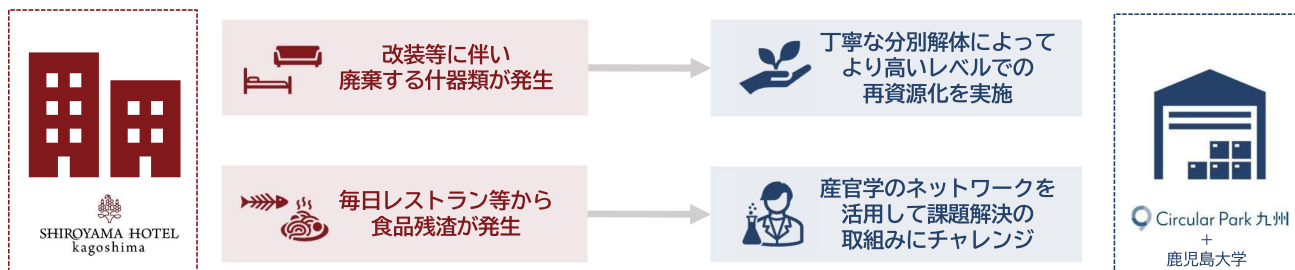
SHIROYAMA HOTEL kagoshima から出る廃棄物全般をより高いレベルで再資源化

サーキュラーパーク九州株式会社の資源循環の知見を活用し、SHIROYAMA HOTEL kagoshimaの廃棄物を減らし、脱炭素・最終処分場逼迫・資源枯渇等の社会問題解決に貢献します。

また、SHIROYAMA HOTEL kagoshima がこれまでの食品ロス削減に取り組んできた知見・ノウハウとサーキュラーパーク九州株式会社の産官学のネットワークを活用することで新たなシナジーを生み出し、更なる取組みにチャレンジします。

その他、従業員の資源循環に関する教育等においても連携することで、地域の歴史・文化・四季を体感できる場所の実現に向けた取組みを加速化していきます。

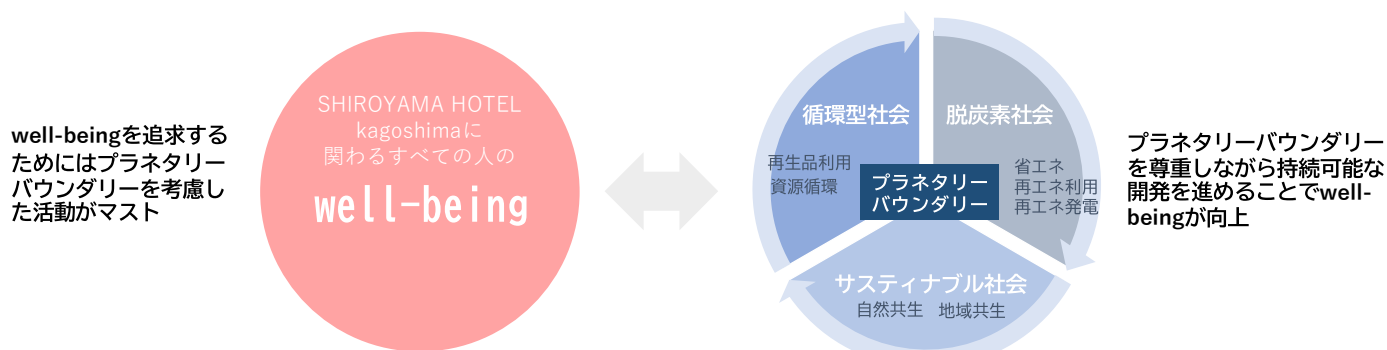
〈イメージ〉



3 well-beingの実現に向けて

日本文化と四季を通して、自然環境との共存環境の体験の提供 ～well-beingを推進～

CO₂をはじめとした温室効果ガス増加による地球温暖化が深刻化するにつれて、日本の四季を感じられる場が損なわれております。SHIROYAMA HOTEL kagoshima とサーキュラーパーク九州は、プラネタリーバウンダリー※を考慮した廃棄物の資源循環を行うことによる循環型社会への貢献と脱炭素社会への実現、また、地産地消や地域連携によるサステナブルな社会の実現を目指します。これにより、皆さまに日本の美しい四季を感じていただける場を提供し続けることで、地域の皆さまや国内外から訪れるお客さま他、関わるすべての皆さまのwell-beingを推進してまいります。



※プラネタリーバウンダリーとは、人間が地球上で持続的に生存していくために、超えてはならない地球環境の境界があるということを明確に示した概念であり、9つの項目（気候変動、大気エアロソルの負荷、成層圏オゾンの破壊、海洋酸性化、淡水変化、土地利用変化、生物圏の一体性、窒素・リンの生物地球化学的循環、新規化学物質）で限界値が定められており、その限界値を超えると地球温暖化や異常気象といった環境問題が生じることになります。

SHIROYAMA HOTEL
kagoshima

Circular Park 九州

4 HOTARU PROJECT

まずは「HOTARU PROJECT」を始動

ホタルは繊細な生き物であり、生息地においては環境への配慮や保護が特に重要です。well-beingの実現に向けて、サーキュラーパーク九州の産学のネットワークを活用し、SHIROYAMA HOTEL kagoshima の美しい庭園に、ホタルを放ち、根付かせるプロジェクトにチャレンジします。取組みの詳細や状況は、随時、ホームページで公開してまいります。

〈イメージ〉



〈協力〉霧島市 清水ほたる愛好会、鹿児島大学 理学部 加藤 太一郎

SHIROYAMA HOTEL
kagoshima

Circular Park 九州